山田先生へ

こんにちは。私は現在広島大学で大学院生をしている佐竹と言います。大学院の講義で中国新聞社の片山明子さんの授業を受ける機会があって、山田先生のことを知りました。いま広島大学のある西条という町では今年初めての雪が降っています。どうやら積もりそうです。もっと降らないかなぁ、雪が積もったら何しよう、とりあえず雪だるまを作ろうとか色々考えながらメールを書いています。それから今日はセンター試験の最終日です。生徒たちにとっては大変な一日になったと思います。あるいは、雪の降る日にセンター試験を受けたということがかえっていい思い出になるかもしれません。HP でお手紙拝見しました。山田先生、これからも今のような楽しい日記をたくさん書いて下さいね。先生のメッセージ楽しみにしています。読み応えのある文章や言葉もさることながら、色とりどりでアイデアあふれるデザインやレイアウトも楽しみにしています。

恐縮ですがここで少し自分のことをお話させていただきます。私は、現在大学の研究室で理学研究科の生物科学専攻というところに所属して日々研究をしています。どんなことをしているかというと、ホヤという生物の研究をしています。ホヤってご存知ですか？居酒屋で酒の肴として出されることのある、貝のような生き物です。といっても実はホヤは私達ヒトにすごく近い生き物なんですよ。貝やタコや、ウニや、ナマコなんかよりも進化的にはずっとヒトに近い生き物なんです。子供の頃には背骨の原形となる脊索を持っていて、海中を自由に泳ぎまわることができます。大人になると岩に固着してそのまま移動せずに一生を終えます。

そのホヤですがバナジウムという金属を体内に濃縮します。その濃度は海水の約 1000 万倍にも達します。どうしてそんなことをするのか。私達はこのホヤのバナジウム濃縮ついて日々がんばって研究をしています。教授たちの研究の甲斐あって少しずつその理由が明らかにされていますが、まだまだわからないことだらけです。生き物って本当にわからないことだらけなんです。ですが、そこが生物の魅力だと思います。だいの大人や大学生がよってたかって研究してもなにひとつ確実なことがわからない。ホヤのバナジウム濃縮の理由だって、自分が生きているうちに解明されるかどうか。この壮大な研究の一端に自分が関わることができているといことはすごく幸せなことだと思います。それから昔から大好きだった生物にいまでも自分が関われていることもすごく幸せだと思います。

先生は長年教師をやってこられたので、知ることの喜びが人一倍強いのではないかと思って私の研究の話をこんなにも長々とさせていただきました。面白くなかったらごめんなさい(^^;

山田先生、これからもずっと自分の好きなことをやり通してくださいね。先生の日記楽しみにしています。